



# グリーンポトスニュース

25号：99年9月

残暑の厳しい折り、真夏から続く暑さのあまり、夏バテをしている人も多いかと思います。体力回復には栄養と睡眠が一番です。今月の話題は、『予防接種』です。

## 予防接種

身体が弱っていると、風邪をはじめとした病気に罹りやすくなります。これは、体力が落ちると同時に身体の免疫力が低下するためです。予防接種は、様々な感染症に対して、あらかじめ免疫をつけて、その病気にならないようにするのです。

予防接種には、麻疹やポリオなどのように性質を変えないため、予防接種を受けることにより終生免疫を得られるものと、インフルエンザのように毎年少しずつ性質が変わるので、その年に流行するウィルスを予想してワクチンを接種するものがあります。

予防接種の功績として、有名なものに、ジェンナーにより始められた種痘や、ポリオ生ワクチンがあります。これらは、地球上から痘瘡を根絶させ、日本から小児麻痺を一掃しました。

一時期、副作用が問題となり、予防接種の接種率が下がったことがありました。その結果、全国的に病気が流行し、死亡者も多く発生しました。これは、改めて、予防接種の効果を裏付けたことになり、今では、予防接種は再び見直され、接種率が上がってきています。

予防接種を対象とする病気に罹ると、大変重篤な症状になり、後遺症を残したり、時には死亡する可能性があるのです。昨年、インフルエンザが流行し、死亡者も多く出たのは記憶に新しいことと思います。亡くなった方のほとんどは、ワクチン接種はしていませんでした。ですから、法律で定められている予防接種は必ず、接種することは勿論ですが、インフルエンザなどの任意接種も、接種することをお勧めします。最近、インフルエンザは、その年に流行する型の中率も高くなり、ワクチンを接種すれば必ず効果が上がります。特に身体の弱いお年寄りや小児は、接種することをお勧めします。かめざわクリニックでは、各種予防接種を行っております。インフルエンザワクチンは、10月頃より行ないますので、気軽に御相談ください。

